

電子入札システム利用時に必要な Internet Explorer のオプション設定手順

2012 年 11 月版

電子入札システムを利用する上で必要な Internet Explorer の設定について下記に示します。
ご利用の OS とブラウザのバージョンを確認し、設定を行ってください。

1. Windows Vista / Windows 7 利用時の設定

設定① インターネット一時ファイルの設定変更

1. Internet Explorer を起動します。
2. Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」をクリックします。
3. 「全般」タブをクリックし、「閲覧の履歴」欄の「設定(S)」をクリックします。

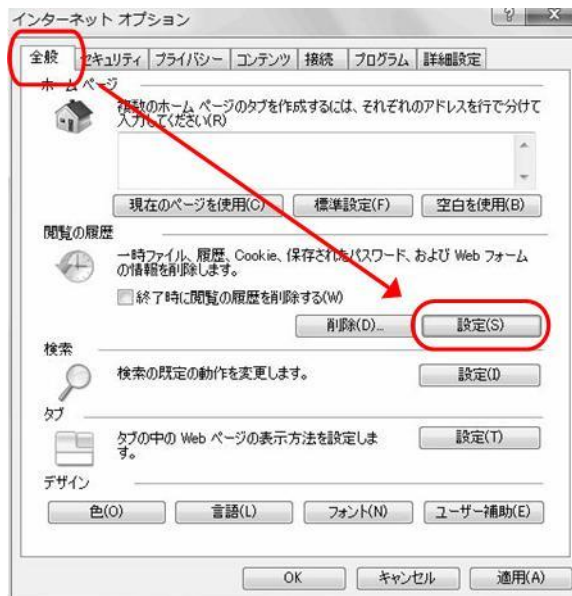


図 1.1-1 全般タブ画面 (Windows 7 IE8.0)

4. 「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」を「Web サイトを表示するたびに確認する(E)」に設定し、「OK」をクリックします。

6. 「保護モードを有効にする」のチェックが外れていることを確認します。
7. 「サイト(S)」をクリックします。

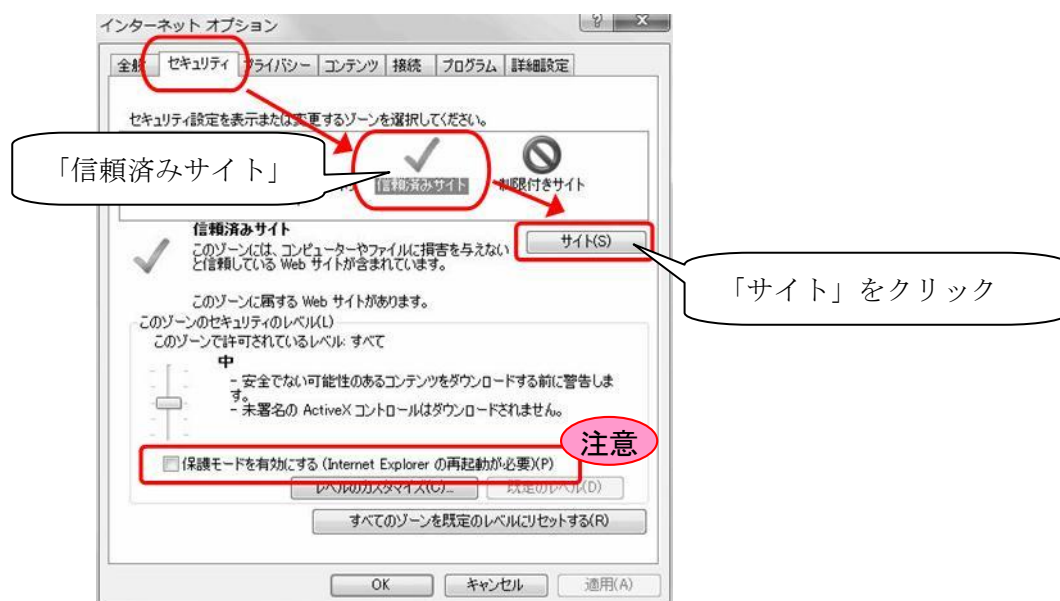
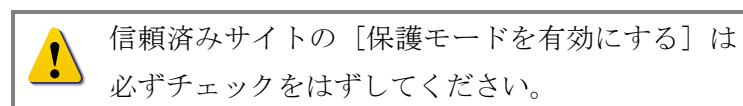
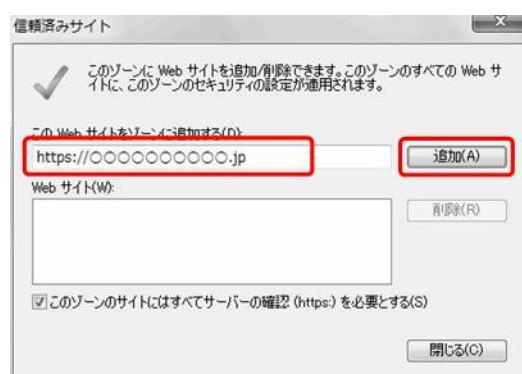


図 1.1-4 セキュリティタブ画面 2 (Windows 7 IE8.0)



8. 信頼済みサイトとして追加しようとしているアドレスが、ログイン画面に表示されているアドレスの一部であることを確認し「追加」をクリックします。

例) <https://e-bids.city.〇〇〇〇.〇〇〇〇.jp/ebid/〇〇〇〇/trader/〇〇〇〇>
 https から. jp の部分までを信頼済みサイトに追加します。



信頼済みサイトを追加登録します。
 追加後は「閉じる」→「OK」をクリックし、インターネットオプションを終了後、Internet Explorer を終了します。

図 1.1-5 信頼済みサイト設定画面

9. 「閉じる」→「OK」をクリックし、インターネットオプション画面を終了します。
10. Internet Explorer を全て終了します。

1 1. Internet Explorer 起動し、本市の電子入札システムにログインし、信頼済みサイトの登録が正しく行われているか確認を行います。

Internet Explorer 9.0 をご利用の場合

キーボードから「Alt」キーを押し、表示されたメニューから「ファイル」→「プロパティ」をクリックします。

プロパティ画面のゾーンに「信頼済みサイト | 保護モード：無効」と表示されていることを確認します。

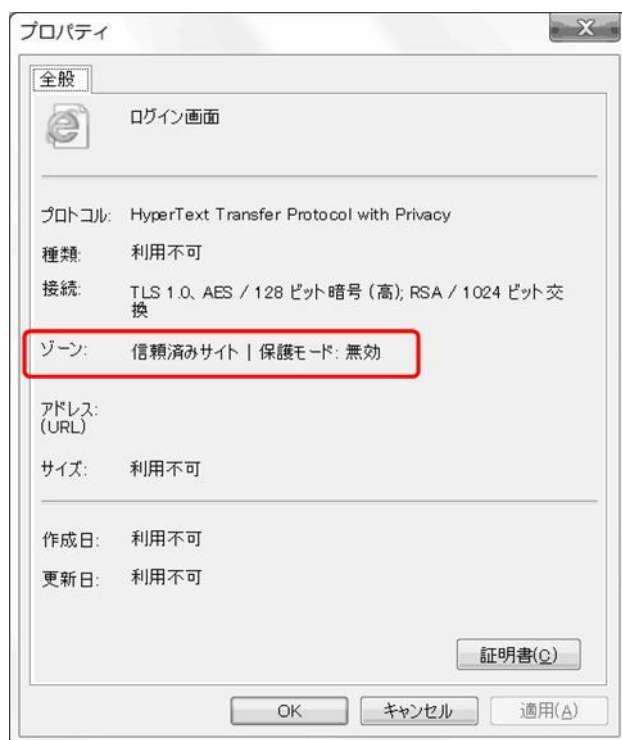


図 1.1-6 信頼済みサイトの登録確認 (Windows 7 IE 9.0)

Internet Explorer 7.0 or 8.0 をご利用の場合

Internet Explorer 画面の右下 (ステータスバー) に「信頼済みサイト | 保護モード：無効」と表示されていることを確認します。



図 1.1-7 信頼済みサイトの登録確認 (Windows Vista7 IE 8.0)

以上で Windows Vista / Windows 7 利用時の設定は全て完了です。

2. Windows XP (Internet Explorer 7.0 or 8.0) 利用時の設定

設定① インターネット一時ファイルの設定変更

1. Internet Explorer を起動します。
2. Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」をクリックします。
3. 「全般」タブをクリックし、「閲覧の履歴」欄の「設定(S)」をクリックします。

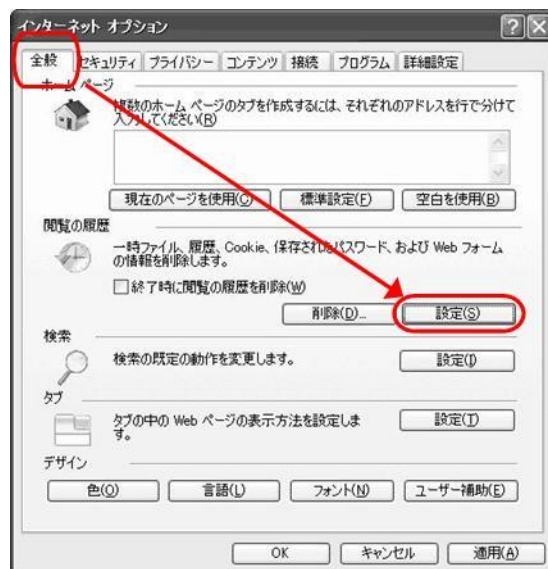


図 1.2-1 全般タブ画面 (Windows XP IE8.0)

4. 「保存しているページの新しいバージョンの確認」を「Web サイトを表示するたびに確認する(E)」に設定し、「OK」をクリックします。

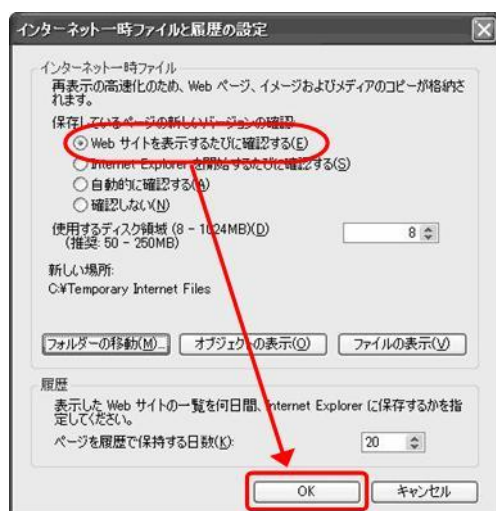


図 1.2-2 全般タブ画面 (Windows XP IE8.0)

設定② セキュリティレベルの設定変更

1. インターネットオプション画面で「セキュリティ」タブをクリックします。
2. 「インターネット」をクリックします。
3. 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」を「中高」に設定します。

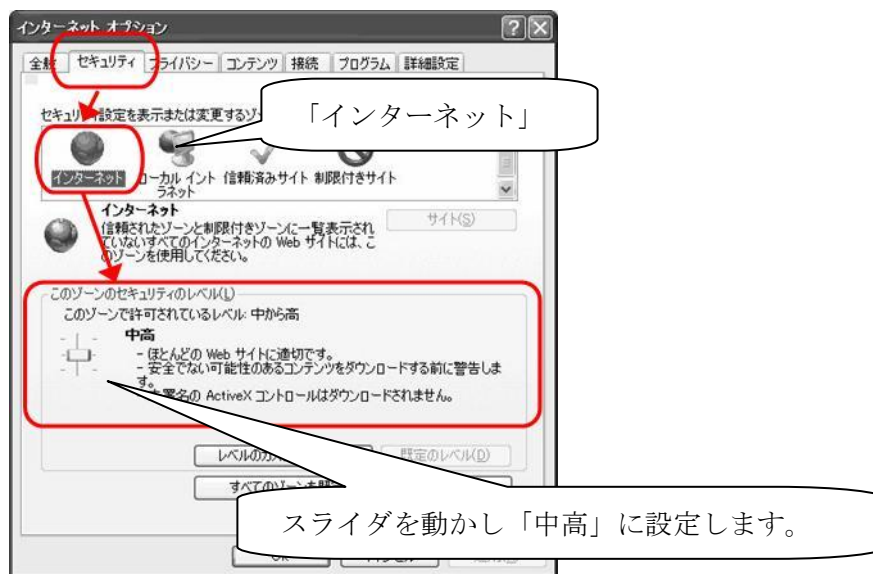


図 1.2-3 セキュリティタブ画面 1 (Windows XP IE8.0)

4. 「レベルのカスタマイズ」をクリックします。

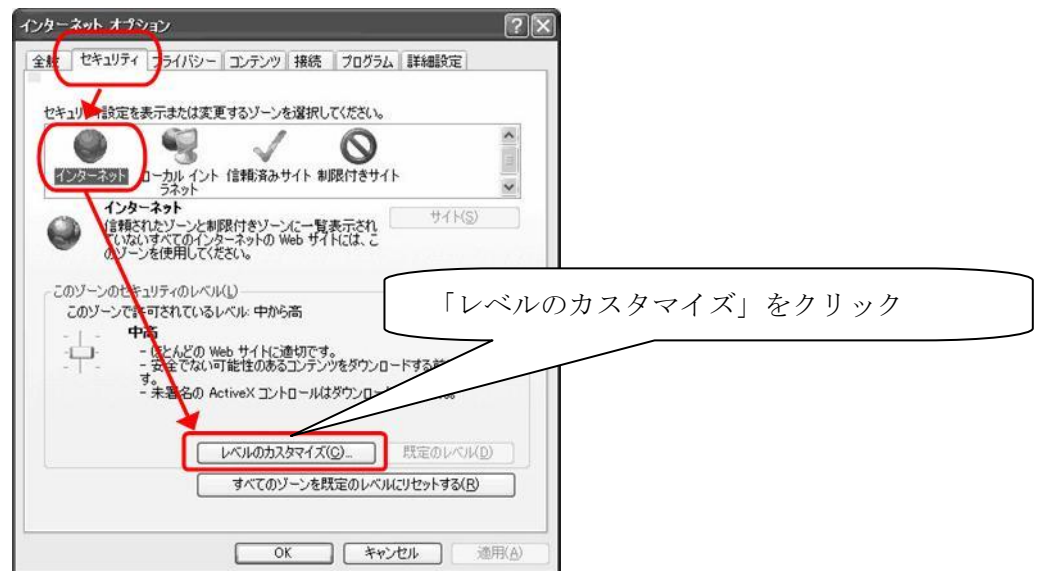


図 1.2-4 セキュリティタブ画面 (Windows XP IE8.0)

5. 「サーバにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」の設定を「有効にする」に変更し、「OK」をクリックします。

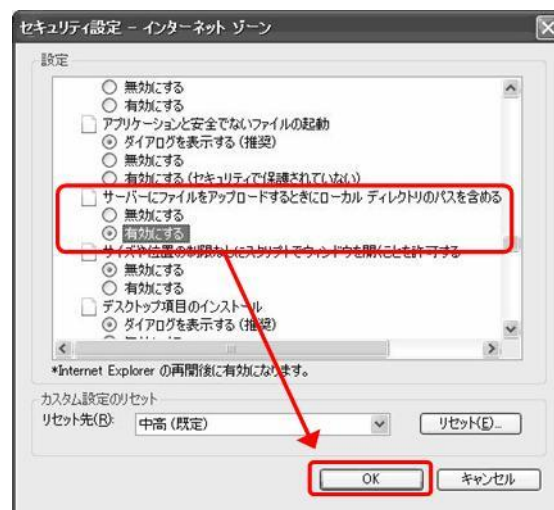


図 1.2-5 インターネットオプション画面 (Windows XP)

6. 「インターネットオプション」画面で「OK」をクリックし変更を適用します。

設定③ プライバシーポリシーの設定変更

1. インターネットオプション画面で「プライバシー」タブをクリックします。
2. プライバシーポリシーの設定を「中」に設定します。
3. 「OK」をクリックし、インターネットオプション画面を終了します。

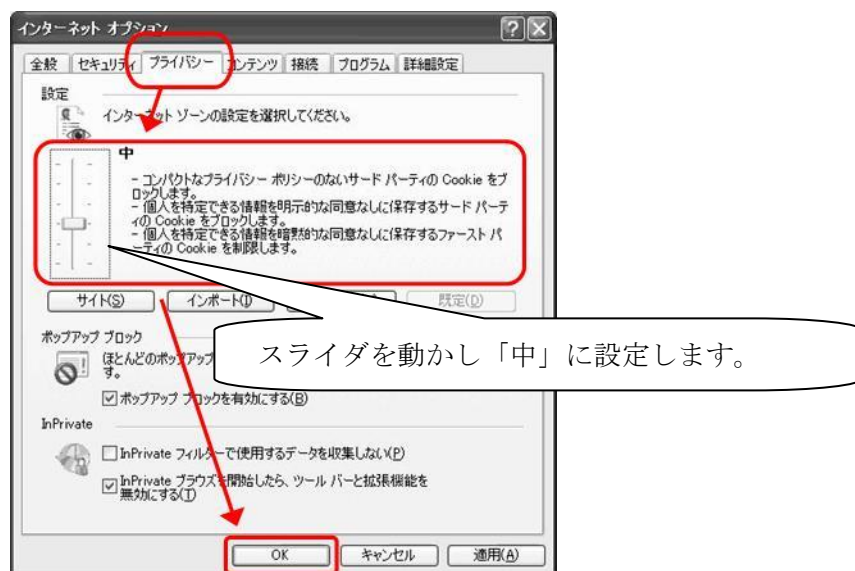


図 1.3-6 プライバシータブ画面 (Windows XP IE8.0)

以上で Windows XP (Internet Explorer 7.0 or 8.0) 利用時の設定は全て完了です。

3. Windows XP (Internet Explorer 6.0) 利用時の設定

設定① インターネット一時ファイルの設定変更

1. Internet Explorer を起動します。
2. Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」をクリックしインターネットオプション画面を表示します。
3. 「全般」タブをクリックし、「インターネット一時ファイル」欄の「設定(S)」をクリックします。

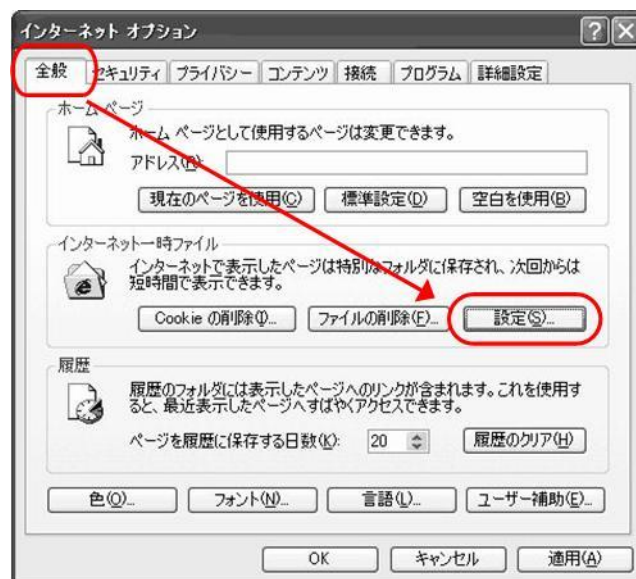


図 1.3-1 全般タブ画面 (Windows XP IE6)

5. 「保存しているページの新しいバージョンの確認」を「Web サイトを表示するたびに確認する(E)」に設定し、「OK」をクリックします。

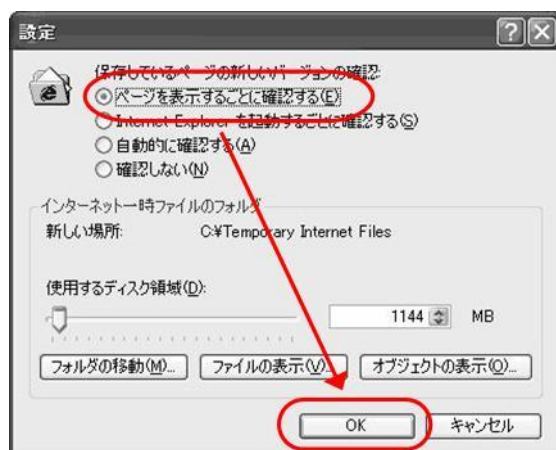


図 1.3-2 インターネット一時ファイルの設定画面 (Windows XP IE6.0)

設定② セキュリティレベルの設定変更

1. インターネットオプション画面で「セキュリティ」タブをクリックします。
2. 「インターネット」をクリックします。
3. 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」を「中」に設定します。

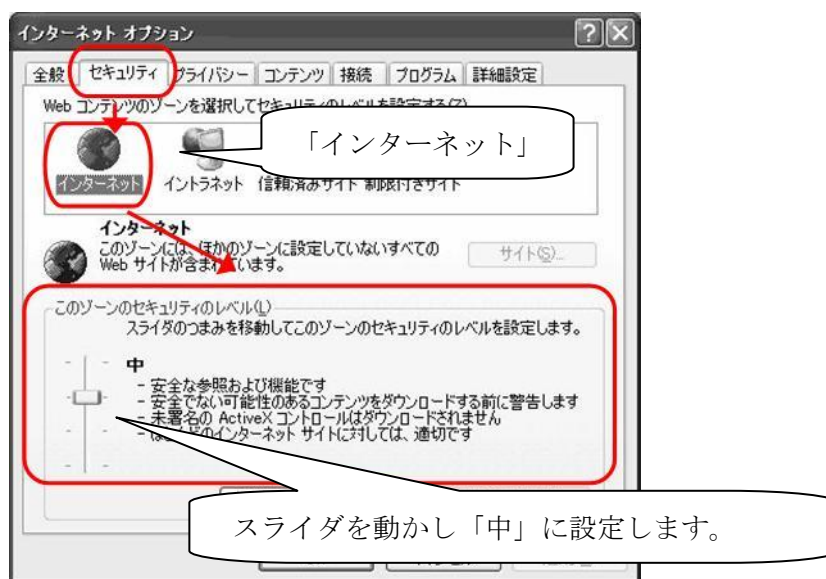


図 1.3-3 セキュリティタブ画面 (Windows XP IE6.0)

設定③ プライバシーポリシーの設定変更

1. インターネットオプション画面で「プライバシー」タブをクリックします。
2. プライバシーポリシーの設定を「中」に設定します。
3. 「OK」をクリックし、インターネットオプション画面を終了します。

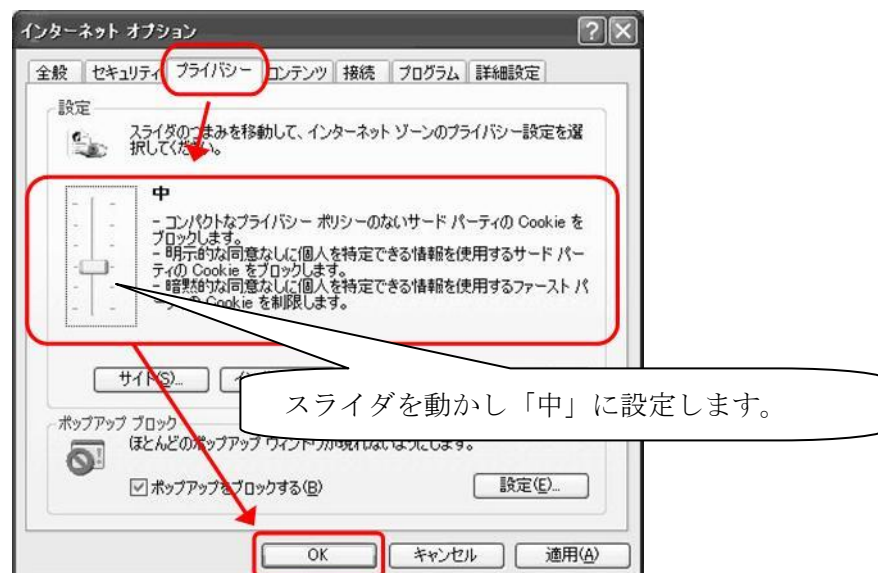


図 1.3-4 プライバシータブ画面 (Windows XP IE6.0)

以上で Windows XP (Internet Explorer 6.0) 利用時の設定は全て完了です。

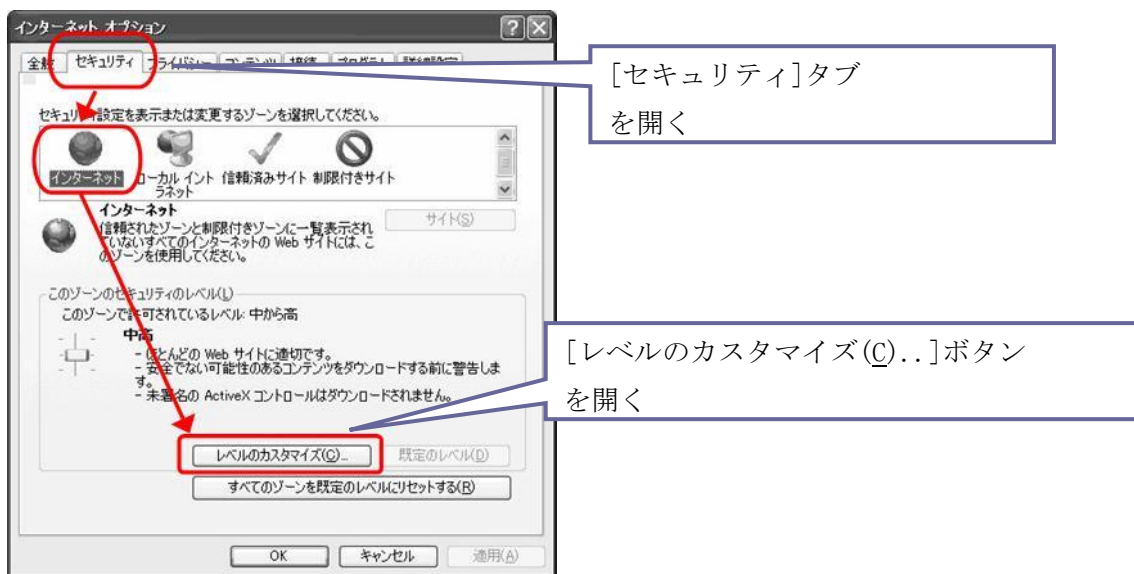
参考) Internet Explorer 利用時のオプション詳細設定の確認方法

電子入札システムを利用する上で必要な Internet Explorer の詳細な設定について下記に示します。

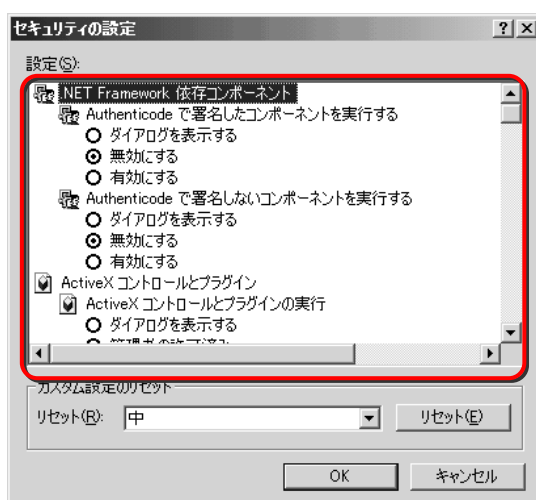
セキュリティオプションの設定確認

電子入札システムでは JavaScript、および Java 実行環境が有効になっている必要がありますので、以下の設定内容を確認してください。

1. Internet Explorer メニュー[ツール]→[インターネットオプション]→[セキュリティ]タブを順に開きます。
2. “このゾーンのセキュリティレベル” の [レベルのカスタマイズ(C)...] ボタンを開きます。



3. セキュリティの各設定項目のうち、以下に示す項目を選択してください。



セキュリティの設定画面

○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ActiveX コントロールとプラグイン
○ ActiveX コントロールとプラグインの実行
○ ダイアログを表示する
○ 管理者の許可済み
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示
○ 無効にする
○ 有効にする

○ 有効にする
☒ スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロール
○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロール
○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ バイナリシミュレータとスクリプトシミュレータ
○ 管理者の許可済み
○ 無効にする

☒ Java アプレットのスクリプト
○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ アクティブ スクリプト
○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ スクリプトによる貼り付け処理の許可
○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ファイルのドラッグ/ドロップ、またはコピー/貼り付け
○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ページの自動読み込み
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ポップアップ ブロックの使用
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ より権限の少ない Web コンテンツ ゾーン
○ 無効にする

☒ 混在したコンテンツを表示する
○ ダイアログを表示する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ダウンロード
○ ファイルのダウンロード
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ アプリケーションと安全でないファイルの起動
○ ダイアログを表示する (推奨)
○ 無効にする
○ 有効にする (セキュリティで保護されていない)

☒ サーバーにファイルをアップロードするときにローカル ディレクトリのパスを含める
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する
○ 無効にする
○ 有効にする

☒ ソフトウェア チャンネルのアクセス許可

ActiveX コントロールとプラグインの実行
◎有効にする

スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスク립ト実行
◎有効にする

アクティブスクリプト
◎有効にする

ページの自動読み込み
◎有効にする

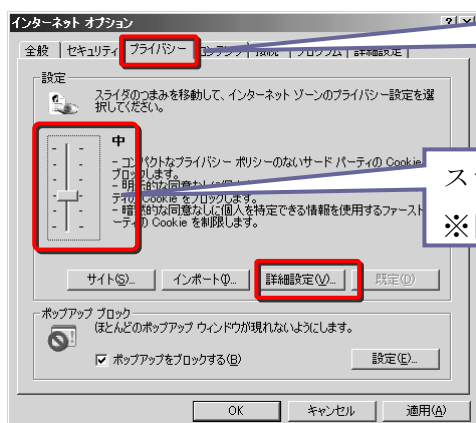
ファイルのダウンロード
◎有効にする

Internet Explore 7.0 または 8.0 をご利用の方のみ
サーバにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める
◎有効にする

以上、設定を確認したら、[OK] ボタンを押して画面を閉じます。

電子入札システムではログインセッション情報を保持するため Cookie（クッキー）の仕組みを利用しますので、下記の設定内容を確認してください。

1. Internet Explorer メニュー[ツール]→[インターネットオプション]→[セキュリティ]
タブを順に開きます。



プライベートタブ

◎有効にする

スライダのつまみを“中”にする。

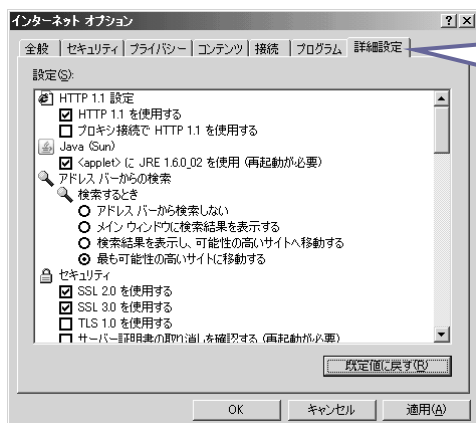
※[既定(D)..]ボタンを押しても“中”になります。

[OK]ボタンを押して画面を閉じます。

詳細設定オプションの設定

下記の設定を確認してください。

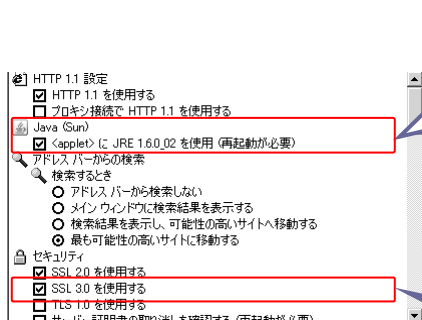
Internet Explorer メニュー[ツール]→[インターネットオプション]→[詳細設定]タブを順に開きます。



「詳細設定」タブ

を開く。

詳細設定の画面の各設定項目のうち、以下に示す項目を選択してください。

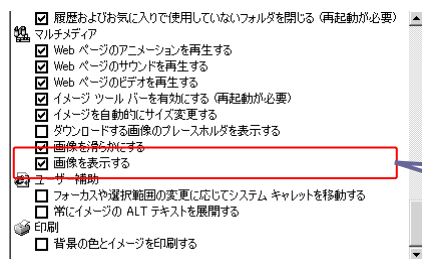
☒ <applet>に JRE 1.*.*_** を使用 (再起動が必要)

を選択 (*部分の数字は PC にインストールされている JRE のバージョンにより異なります。)

※ご利用の環境によって項目が存在しない場合があります。その際は選択不要です。

☒SSL 3.0 を使用する

を選択



☑画像を表示する
を選択

[OK] ボタンを押して画面を閉じます。

電子入札システムを利用する上で必要な Internet Explorer の設定は以上になります。